

財政事情の公表

わがまちの家計簿(令和6年度決算から)

皆さんのご家庭が、毎月の給料で食費や光熱水費、学費、ローン返済などの支払いをしながら生活しているように、市でも、皆さんから納付いただいた税金や国・府からの補助金、市債という借入金などの収入で、各種サービスの提供に必要な費用の支払いをしています。

今回は、令和6年度決算と令和7年度上半期(4月から9月まで)の予算執行状況などについてお知らせします。

令和6年度決算状況

令和6年度の一般会計及び特別会計(企業会計除く。)の決算状況は第1表のとおりです。
昨年度に続き財政調整基金の取崩しを行うことで、実質収支の黒字を維持しました。

＜第1表＞ 令和6年度各会計決算状況(企業会計除く。) (単位:千円)

会計名	予算額(A)	収入(B)	支出(C)	差引(形式収支)(B)-(C)=(D)	翌年度に繰越すべき財源(E)	実質収支(D)-(E)
一般会計	32,606,560	29,208,192	29,144,958	63,234	42,488	20,746
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	7,882,829	7,155,956	7,153,169	2,787	0
	国民健康保険(施設勘定堅上診療所)	11,600	9,078	9,078	0	0
	介護保険	7,412,572	7,237,726	7,177,610	60,116	0
	後期高齢者医療	1,433,910	1,450,175	1,392,890	57,285	0

まず、一般会計の歳入は、図1のとおりです。

【説明】

歳入総額は、292億819万円となり、前年度と比べると、6億774万円、2.1%の増となりました。

【主な歳入の増減理由】

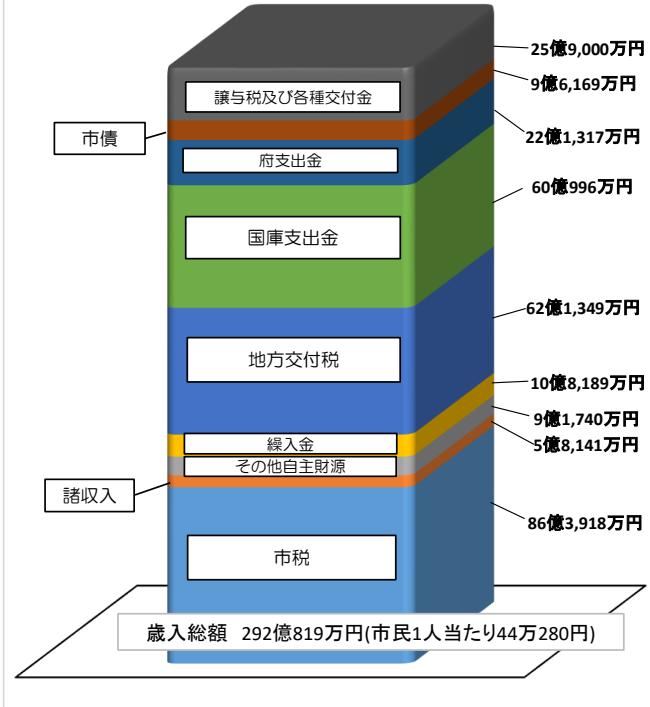
○市税: 定額減税及びふるさと納税の増加に伴う個人市民税の減や、税額上位の法人における資産の減少による固定資産税の減などにより、3億1,824万円の減

○繰入金: 財政調整基金繰入金及び公共施設等整備基金繰入金の増により3億4,992万円の増

○譲与税及び各種交付金: 定額減税減収分の地方特例交付金の交付などにより4億6,074万円の増

○市債: 小学校屋内運動場空調設備設置事業債などにより3億3,576万円の増

＜図1＞ 一般会計歳入



令和7年3月31日現在人口 66,340 人

次に、一般会計の歳出は、図2のとおりです。

【説明】

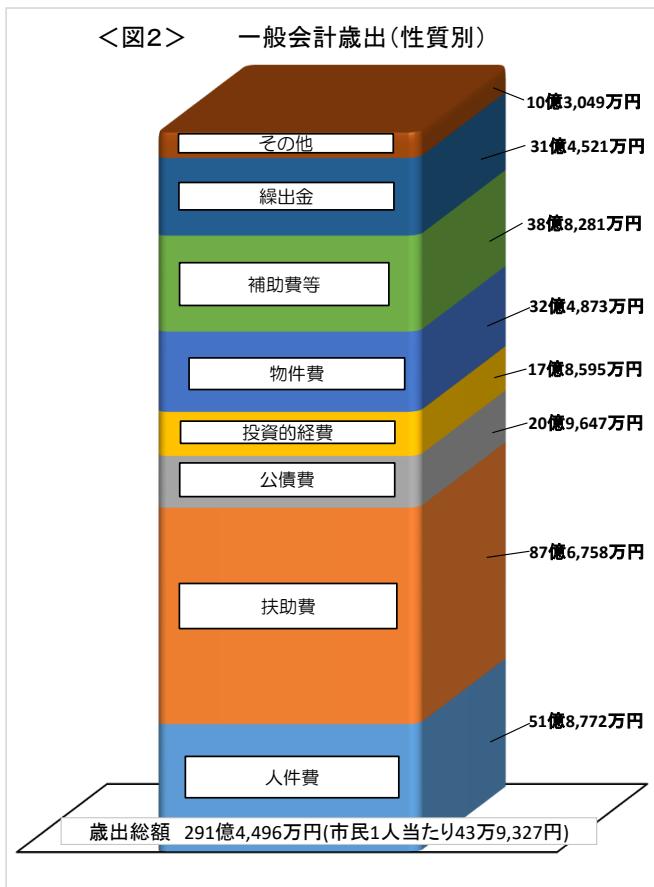
歳出総額は、291億4,496万円となり、前年度と比べると、6億39万円、2.1%の増となりました。

【主な歳出の増減理由】

○人件費：会計年度任用職員の勤勉手当や職員給の増などにより5億2,910万円の増

○扶助費：障害者施策関係費の増などにより3億9,469万円の増

○投資的経費：小中学校施設整備事業費や道路関係事業費などの増により4億3,855万円の増



市の財産

市の財産は、貯金に当たる積立金(基金)と市役所の本庁舎、学校、公園などの公有財産、借入金である市債の大きく3つに分かれます。これらの財産の令和6年度末の状況は第2・3・4表のとおりです。

第2表 積立金(基金)現在高一覧

(単位:千円)

基金名	令和6年度末 積立金現在高	市民1人当たりの 積立金現在高(円)
主な基金		
財政調整基金	3,681,042	55,488
減債基金	2,245,229	33,844
公共施設等 整備基金	714,989	10,778
公園等整備基金	517,783	7,805
その他目的基金		
うち 老人福祉基金	203,041	3,061
ふるさと基金	1,629,158	24,558
	319,530	4,816
	869,785	13,111

※ 基金とは…

ある特定の目的のために積み立てられているもので、市の貯金です。柏原市もいくつかの基金があり、目的に応じて運用されています。ただ、財政調整基金だけは使用用途を制限されない積立金です。

＜第3表＞ 公有財産一覧

(単位: m²)

区分		土地	建物
行政財産	公用財産	14,380	15,019
	公共用財産	562,160	150,492
普通財産		62,624	7,836
合計		639,164	173,347

※公用財産:市が直接業務に使用するためのもの(本庁舎、出張所など)

※公共用財産:住民が一般的に共同利用するためのもの(学校、公園など)

※普通財産:上記2つ以外の全ての財産で、直接行政目的がないもの

＜第4表＞ 市債現在高

(単位: 千円)

会計名	令和6年度末 市債現在高	市民1人当たりの 市債現在高(円)
普通会計	19,655,789	296,289

※ 市債とは…

本来、学校や道路など長期間にわたって利用することができる施設を多額の費用をかけてつくる時に国や金融機関などから借りる長期的な借入金です。利用者の負担の公平性を保つため、長期で返済していきます。(一般家庭で言えば住宅ローンのようなものです。)

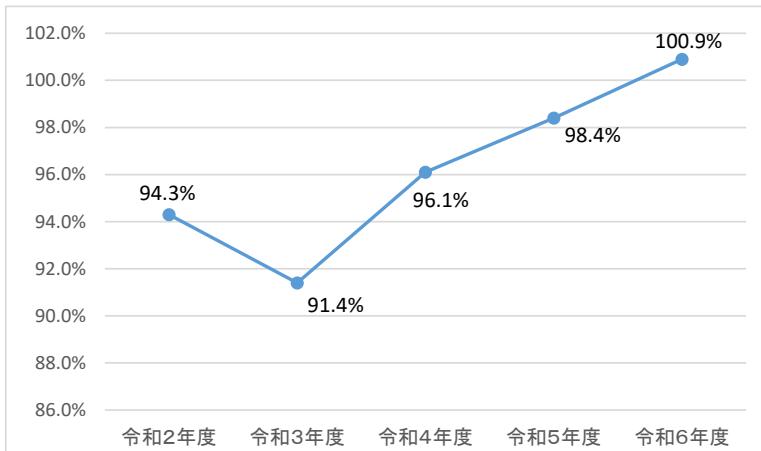
令和6年度決算からわかること

～財政構造の硬直化と厳しい財政運営～

財政構造の弾力性を示す経常収支比率の推移は、図3のとおりです。令和6年度については、100.9%となりました。

少子高齢化や人口減少などにより歳入の増加が見込めない中、社会保障関係費の増加、老朽化した公共施設の改修や統廃合による施設整備事業に伴う市債の発行額の増加など経常的な経費は増加が見込まれることから、今後も厳しい財政運営となることが予想されます。

＜図3＞ 経常収支比率一覧



※ 経常収支比率とは…

毎年度継続して収入される市税などの経常的収入が、毎年度決まって支出される人件費、扶助費のような経常的支出にどれだけ充当されたかを示す指標。

数値が低いほど財政に余裕があることを示す点でエンゲル係数(家計の消費支出に対する食料費の割合)に似ています。

令和7年度上半期予算執行状況

令和7年度上半期(4月から9月まで)の各会計における収入・支払の状況は、第5表のとおりです。

＜第5表＞ 令和7年度上半期各会計執行状況(企業会計除く。)

(単位:千円)

会計名	予算額 (A)	収入 (B)	収入割合 (B)÷(A)	支出 (C)	支出割合 (C)÷(A) %	収支差引額 (B)-(C)
一般会計	31,746,064	14,300,885	45.0	13,554,467	42.7	746,418
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	7,145,110	2,524,131	35.3	2,723,972	38.1
	国民健康保険 (施設勘定堅上診療所)	11,269	2,567	22.8	1,708	15.2
	介護保険	7,712,911	3,785,619	49.1	2,998,116	38.9
	後期高齢者医療	1,438,799	580,486	40.3	482,187	33.5

令和7年9月30日現在人口 66,308 人

また、一般会計における市債の令和7年9月30日時点での現在高は、第6表のとおりです。

＜第6表＞ 市債の現在高

会計名	令和7年9月30日時点の 市債現在高(千円)	市民1人当たりの 市債現在高(円)
一般会計	18,798,860	283,508